

文例（総合）

一般的な遺言（相続人が配偶者、子2人の場合）

遺言書

第1条 遺言者は、遺言者の有する次の財産を、妻〇〇〇〇（生年月日）に相続させる。

1 不動産

- ① 土地 所在 〇〇区〇〇町〇丁目
地番 〇〇番地〇〇
地目 宅地
地積 150平方メートル
- ② 建物 所在 〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番地〇〇
家屋番号 〇〇番〇〇
種類 居宅
構造 鉄筋コンクリート造瓦葺2階建
床面積 1階 100平方メートル、2階 95平方メートル

2 預貯金

- 金融機関 株式会社〇〇銀行〇〇〇支店
種類 普通預金
口座番号 〇〇〇〇〇
名義人 遺言者

第2条 遺言者は、遺言者の有する次の財産を、長男〇〇〇〇（生年月日）に相続させる。

1 預貯金

- 金融機関 株式会社〇〇銀行〇〇〇支店
種類 普通預金
口座番号 〇〇〇〇〇
名義人 遺言者

2 本遺言第1条および第3条に記載する財産を除く遺言者の有する一切の財産

第3条 遺言者は、遺言者の有する次の財産を、長女〇〇〇〇（生年月日）に相続させる。

1 預貯金

- 金融機関 株式会社〇〇銀行〇〇〇支店
種類 普通預金
口座番号 〇〇〇〇〇
名義人 遺言者

2 株式

〇〇株式会社 〇〇株

第4条 遺言者は、遺留分の減殺は、まず妻〇〇〇〇に相続させる財産からすべきものと定める。

第5条 遺言者は、遺言者の死亡以前に妻〇〇〇〇が死亡したときは、第1条により妻に相続させる財産のうち、不動産は、長男〇〇〇〇に相続させ、預貯金は、長女〇〇〇〇に相続させる。

第6条 遺言者は、祭祀主宰者として、長男〇〇〇〇を指定する。

第7条 遺言者は、本遺言の遺言執行者として、次の者を指定する。

住 所 東京都〇〇区〇〇・・・

職 業 〇〇〇

氏 名 〇〇〇〇

生年月日 〇〇年〇〇月〇〇日

私は永年にわたって苦楽を共にし、私に尽くしてくれた妻〇〇〇〇に感謝しています。愛情をこめて育てた大切な子供たち2人も、それぞれが独立し、幸せな家庭を築き、安心している次第です。今後も兄妹力を合わせ、母さんを大切にしてください。最後に、素晴らしい妻、子供、孫たちに恵まれたことに心から感謝します。ありがとう。

平成〇〇年5月15日

住 所 東京都〇〇区〇〇・・・

氏 名 〇〇〇〇 ⑩

上記は総合的な遺言の一例です。